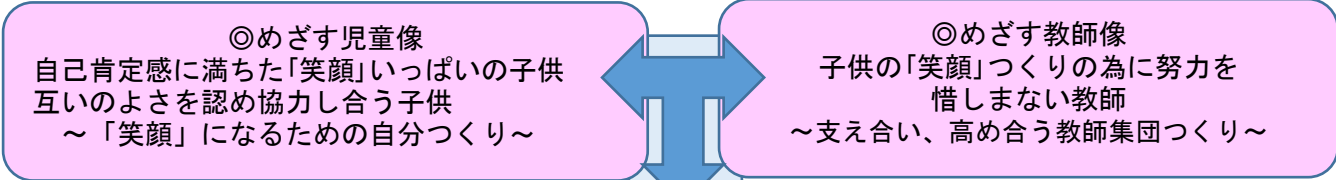




# 令和6年度 唐津市立鬼塚小学校 教育全体構想

## 学校教育目標

『笑顔いっぱいの学校づくり』  
 ～温かい心で共に高め合い、主体的に取り組む子供の育成を目指して～



◎めざす学校像  
安心・安全で、信頼される鬼塚小学校  
～すべての子どもが笑顔で通える学校づくり～

唐津市教育委員会  
令和6年度 学校教育の重点課題

- ◎ 主体的・対話的で深い学びの推進及び学力向上
- ◎ 心の教育の充実
- ◎ 学校、家庭、地域の役割分担と相互連携
- ◎ ICT を利活用した教育の推進
- ◎ 特別支援教育の充実

本年度 鬼塚小学校スローガン  
 「すべては子供たちの  
**笑顔**のために」  
 学校、保護者、地域が一体とな  
 って、子供の「笑顔」づくりの  
 ために、考えて行動する

### 本校教育の重点

知	考える力	① 授業中の「学び合う活動」の充実（主体的・対話的で深い学び） ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ③ 「できた」「わかった」という充実感をもたせる授業の実践 ④ 基礎・基本の定着と活用力の向上を目指した家庭学習の推進
徳	心の力	① 自己肯定感を高める取組の充実（行事等での子供の出番づくり） ② 心の教育の推進 ・ 道徳科の授業を要とした道徳教育の充実 ・ 人権・同和教育の充実 ③ 特別支援教育の充実（児童理解部を核として）
体	体の力	① 健康な体づくりの推進（歩いて登校、体育活動の充実） ② 基本的生活習慣の定着（保護者との連携） ③ 食育の推進（給食指導の充実）
開かれた 学校づくり		① 「いきいき学ぶからつっ子育成事業」の実践 ・ 地域の教育資源の活用（体験活動の充実） ② 地域行事への参画（公民館との連携等） ③ 地域ボランティアとの連携（登下校見守り、学習ボランティア等）
学級づくりの充実		① 「笑顔」の学級集団作りと学級目標の実現 ② 発達段階に応じた指導の充実 ・ 人間関係構築、基本的生活習慣・学習規律の確立 ③ 個に応じた指導の充実（QUアンケートの活用等）
保護者との連携		① 情報の積極的な発信（各種便り、HPの活用） ② 保護者からの要望等への即時かつ組織的な対応 ③ PTA活動の充実（職員と保護者の連携強化、活動内容の精選）

# 令和6年度唐津市立鬼塚小学校 教育全体構想具現化に向けた目標設定

めざす学校像		安心・安全で、信頼される鬼塚小学校 ～すべての子どもが笑顔で通える学校づくり～		
教育目標	経営目標	中・長期目標	短期目標・手立て	
『笑顔いっぱい の学校づくり』 く温かい心で共に高め合い、 主体的に取り組む子供の育成を目指して！	児童	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組み、対話を通して深く学ぼうとする態度を育成する。</li> <li>基礎的な知識・技能の定着を図る。</li> <li>学んだことを生かし進んで課題を解決しようとする態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「唐津の学びスタイル」を元に授業改善を図り、主体的対話的な深い学びの場を作る。</li> <li>職員相互の「授業参観」を通して、互いの授業実践を振り返り、成果・課題を共有する。</li> <li>全国・県学力調査、標準学力調査等の分析により、授業の改善に取り組む。</li> </ul>
		豊かな心・健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他を大切にする態度を育成する。</li> <li>社会の一員であるという自覚と規範意識を育成する。</li> <li>児童同士、互いに協力し合いながら物事を進める態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童同士が良さを互いに自覚し合える学級集団づくりに取り組む。</li> <li>常に学級目標を意識した教育活動を展開する。</li> <li>児童の出番を多くした学校行事を工夫する。</li> <li>道徳授業の改善を図る。(校内研究の充実)</li> <li>系統性を重視した意図的・計画的な健康教育と体育活動を行う。</li> </ul>
	教職員	能力開発・資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師自身が「元気に笑顔」で学校生活を送る。</li> <li>職務課題を自覚し、解決する能力を育成する。</li> <li>授業実践力・生活指導力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場のコミュニケーションを大切にすると共に、健康的な勤務体制を構築する。</li> <li>学期毎に現状分析を行い、目的と具体的な方策を検討し、改善を図る。</li> <li>積極的に校外での研修を推奨すると共に、OJTの活性化を図る。(各主任、ミドルリーダーの活用)</li> </ul>
		組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標の具現化に向けて具体的目標を持つ。</li> <li>組織対応力の向上を図る。</li> <li>仕事の優先順位をつけ、計画的に職務に取り組む。(仕事時間の有効活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部主任の企画力向上を主眼に、提案型の分掌運営を図る。<b>(鬼小スマイルプロジェクト)</b></li> <li>児童に関わる情報の共有に努め、教育活動に活用する。</li> <li>「抱え込み」を排除し、チームによる迅速で的確な問題解決を行う。</li> </ul>
	家庭・地域	理解・連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集、分析、発進力を向上させる。</li> <li>家庭・地域の参画意識の向上を図る。</li> <li>家庭・地域との連携事業を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A活動活性化のために、学校職員も積極的に活動に参加する。学習ボランティアとして保護者に参加を依頼し、協力・連携を図る</li> <li>「いきいき学ぶからつ子育成事業」の各学年行事を充実させると共に、情報発信の充実を図る。</li> <li>地域の各種団体の事業に積極的に参加し、双方向の関わりを深める。</li> </ul>